

2026年5月24日月例会

日光街道 その1 日本橋～南越谷

開催日 2026年5月24日(日)
集合場所 東京 日本橋観光案内所前
集合時間 8時45分 開会式終了後にスタート
コース 日本橋～浅草見附跡～蔵前～浅草～南千住
～北千住～千住ほんちょう公園(昼食)
～草加 草加駅20kmゴール
～南越谷駅 26kmゴール
距離 20km 草加駅 26km 南越谷駅
参加者 20km 16名、26km 14名
ゴール時間 20km 14時30分頃 草加駅
26km 16時 南越谷駅

ウォーキング状況

茨城県を出て東京日本橋集合にもかかわらず多くの方に参加いただき有難うございました。

天気は珍しく、雨の心配もなくウォーキング日和となりました。

先ずはここでお詫びです、タイトルは正確には「旧日光街道」です。

今後、旧日光街道をなるべく歩く予定ですが、交通量が多い区間は脇道を歩く事もありますのでご了承下さい。

早速、日本の道路の起点となる日本橋で記念撮影です。



三越前を過ぎ室生町三丁目南の信号を右折し、薬問屋街、洋服問屋街を進みます、日曜日なのでお店はお休みでしたが、平日には一般小売しませんの表示がある洋服問屋街は歩いて楽しい場所です。
馬喰町の交差点で地下通路を通り浅草見附跡にでます。ここは浅草御門や郡代屋敷があった場所で江戸城外との境界の場所になります。
更に足を進めると、伊能忠敬の師匠の天文台跡、人形の久月、バンダイ本社駒形どせう等々、新旧の成程があります。

雑学1

駒形どせうは総業1801年どじょう料理の老舗、1806年に大火に遭いそれまで「どぢやう」の四文字では縁起が悪いと「どぜう」の三文字に改称したそうです。

雷門到着です。毎日 TV で放映されているとおり外国人観光客で門前通りは大混雑です。



各自参拝後、本堂裏でトイレ休憩。

その後、言問橋に向かい旧日光街道に戻り、大根まつりで有名な待乳山聖天(まつちやましょうでん)を参拝です。お供えされた大根を頂いて来ました。(リュックに入れて歩くと結構重いです、でも頑張りました)

雑学2

大根は清浄、淡白な味わいのある食物としてすべての人に好まれ、しかも体内の毒素を中和して消化を助けるはたらきがあるところから、聖天様の「おはたらき」をあらわすものとして尊ばれ、聖天様のご供養に欠かせないお供物とされているそうです。

(待乳山聖天 HP より引用)



聖天参拝後、近くの山谷堀公園でおやつタイムです。
浅草寺参道で購入した名物「あん入 人形焼き」



暖かく美味しかったです！！

雑学3

山谷堀公園は、もともと山谷堀という王子の音無川から隅田川に注ぐ水路でした。江戸時代には、山谷船とも呼ばれた「猪牙舟（ちょきぶね）」でこの水路を遊郭の吉原へ遊びに行くことが、ぜいたくな遊びとして流行したと伝えられています。昭和50年(1975)頃から山谷堀はすべて埋め立てられて暗渠となり、細長い公園として生まれ変わりました。



再び旧街道に戻り、南千住を目指します。
昨年大河ドラマで話題になった、蔦屋重三郎の墓碑がある正法寺前を通り、泪橋、南千住へと向かいます。

雑学4

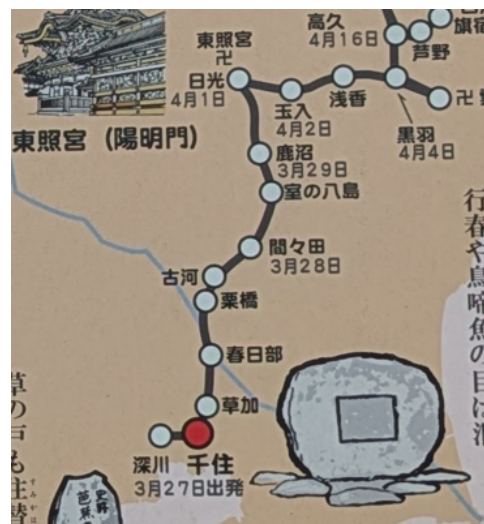
泪橋は今の南千住駅の線路あたりに有った、小塚原刑場に引き立てらる罪人と身内の物がここで泪の別れをした場所です。南千住駅横の回向寺には安政の大獄で斬首された吉田松陰の墓碑があります。

南千住駅から墨田川に架かる千住大橋を渡ると橋のたもとに、松尾芭蕉の案内板があり、ここでトイレ休憩です。



雑学5

松尾芭蕉は深川の自宅から舟で千住に着き、ここから「奥の細道」へ旅立っています。
その行程の案内板がありますが、千住の次の日には間々田、次の日には鹿沼へと行っています。



今回の予定では、その3で古河ですよ！！ 健脚にビックリ？

再出発し北千住に向かいます。北千住は昔青空市場があった所で道路の両脇の家には昔の屋号札がかけられていました。
千住本陣跡や江戸日本橋から二里の一里塚跡があります。
千住ほんちょう公園でお昼休憩です。



12時15分に草加、南越谷に向けて再出発。
荒川の手前で水戸街道の追分、続いて下妻街道の追分を過ぎて荒川に架かる千住大橋を渡ります。日曜日なので多くの人が河川敷のグラウンドでスポーツを楽しんでいます。橋の上は心地よい風が流れていました。



水戸街道追分碑



下妻街道追分碑

橋を渡り川沿いを上流に向かって川田橋交差点迄行き旧日光街道に入り、埼玉県境まで約5kmです。約1時間の道のりですが、少し疲れがでてきたのか長く感じます。
毛長川の橋を渡って埼玉県草加市に入りました。約2kmで草加駅です。ここは昔、瀬崎村と言われた場所です。

雑学6 終わり

草加由来 瀬崎村は沼沢地であった。家康の通行に際して柳の木や茅を束ね、縦横に埋め込んで新道を造った。家康は「草も役にたつものだ」と褒め、この地を「草加」と名付けた。

今様草加宿碑から脇道に入り、旧道の面影が残る中を進むと草加駅前の交差点にて、ここで20km参加者とはお別れです。
草加市には草加せんべいの工場・お店が観光案内パンフレットによれば39店ありますが、河岸公園手前の志免屋さんで各自お土産を買いました。公園内にある芭蕉庵付近で最後の休憩です。
お約束の草加せんべいをこの売店で購入して、皆さんと……。



皆さん手に持ってにっこり、美味しくいただきました。

国指定名勝になっている「おくのほそ道の風景地 草加松原」を堪能して



16時少し前に南越谷駅に無事到着しました。
皆さんお疲れ様でした。

以上
記 松崎 寛